

☆みなみだい☆

令和3年4月号

ご入園、ご進級おめでとうございます！！

自粛生活も一年を越えました。新しい生活が始まります。幼稚園でも石鹸での手洗い、うがい、手の消毒、机や床の消毒をしっかりと皆さんをお迎えいたします。少しでも幼稚園で遊ぶ楽しみを感じて、少しでも自粛疲れを吹き飛ばしてもらえればと思います。

新入園児は緊張の面持ちで小さな胸に期待と不安を抱えて登園してくると思います。少し頼もしくなった進級児は「お兄さん、お姉さんになった！」と張り切り、「新しい友だちは誰が来るのかな？」と期待していることでしょう。それぞれの期待と不安を受けとめ、新しい生活環境に慣れていけるよう職員一同力を合わせ、子どもたちがよりよい成長ができるよう頑張ります。

☆今月の目標

- ・新入児
喜んで登園し、先生や友だちと好きな遊びを楽しむ
幼稚園の生活の流れや遊具の使い方に慣れる
- ・進級児
新しい友だちや先生と遊ぶことを楽しむ
新入児との関わりの中で進級した喜びをもって生活する

☆今月の約束

- ・名前を呼ばれたら「はい！」と返事をしましょう
- ・挨拶をしましょう

☆今月の歌

- 年少・年中組
- ♪ チューリップ
 - ♪ むすんでひらいて
 - ♪ 大きな栗の木の下で
 - ♪ こいのぼり
 - ♪ おつかいありさん

- 年長組
(年少中と同じ歌の他に)
- ♪ さんぽ
 - ♪ 森のくまさん



どんなことをするのかな？ ～年少組・新入園児～

いよいよ幼稚園での生活が始まります。お母さんと離れることに不安を感じる子どもいますが「〇〇ちゃん、おはようございます」と先生達は名前を呼びながら笑顔で迎え、子ども達と元気に挨拶を交わし、安心して登園できるようにしていきます。

靴やカバンをどこに置いたらよいか分からない子ども達に、おなまえシールのマークを手掛かりにして「〇〇くんのマークは何だろう？」「どこかな？」と一緒に探していき、慣れてくると「僕のはここだよ！」と自分で探すようになります。

上履の履き方や遊び着の着方も「靴の後ろを引っ張ってごらん」「ボタンの穴はどこかな？」と一人一人に合わせて援助し、だんだんと自分で身支度が出来るようにしていきます。

お部屋には子ども達が好きな、粘土、ままごと、積木、ブロックなどをすぐ遊び出せるように用意しておきます。すぐに遊びだせる子もいれば、じっとしてなかなか遊び出せない子、友だちの遊びを見て一緒に遊んだような気持ちになっている子と様々でしょう。「おいしいご飯が出来ました。どうぞ、食べてください」と声をかけたり、「牛乳パックの電車でお出かけしよう！」などと、子どもが遊びに入るきっかけを作っていきます。

不安で泣いている子には、一緒に散歩したり、外で遊びながらその子の好きなもの、興味のある遊びを見つけ、出来たことを認めながら皆の中に入れるようにしていきます。

少しずつ慣れてくると、安心してそれぞれが好きな遊びを見つけることでしょう。砂場でケーキ作りや粘土でクッキー、お団子作りなど思い思いの遊びが始まります。

幼稚園でたくさん遊ぼう



☆年中組

いよいよ年中組になり、一つ大きい組になった喜びから張り切って登園する子や新入園児に対して楽しみにしている姿を見せてくれる子もいます。進級児でも担任が変わったり、新しい環境に戸惑う子もいることでしょう。不安なことが何かをしっかりと受け止め、自分の荷物の置き場所をおなまえシールで確認するところから安心して生活できるようにしていきます。「今度は〇〇マークになったのね」「カバンは、ロッカーにかけるとのよね」と一言声をかけるだけで「あーそうか！年少のときと同じなんだ」「ここが私の新しいロッカーなんだ」など場所が違って身支度の仕方は同じであることに気付かせ、自信をもてるようにしていきます。

新入園児には、進級児と一緒に手伝い「ここにカバンをかけるんだよ」と教えてあげ、支度をしていきます。先生は「〇〇ちゃんありがとう」とお互いの名前を知らせて、関わりがもてるようにしていきます。

はじめは部屋に積み木やままごと、製作コーナーなど今まで遊び慣れたものを用意しておき、自分が遊びたいコーナーで好きな遊びをします。

新入園児が園庭の滑り台や汽車などの固定遊具に興味をもった時、遊び方を進級児に聞いたり、使い方を見せてもらったりして確認し、安全に楽しく遊べるようにしていきます。

製作では、ハサミを使って「パッチン切り」「チョキチョキ切り」で焼きそばを作ったり、こいのぼりのうろこを貼ったりしてハサミやのりの使い方を確認していきます。



☆年長組

一番大きいクラスになり、「年長組になったんだ」「お兄さん、お姉さんになったんだ」と期待をして登園する子ども達です。一方では、新しいクラスに変わったことで不安などもあり、「遊び着はどうしたらいいの？」と聞いてくることもあるので「年中の時と同じよ」と伝えると「あっそうだ。ロッカーにかけるとのよ」「ハンカチもポケットに入れるんだ」と何も変わらないことに気づいて自分で行うことで、年長児としての自覚がもてるようにしていきます。

体操服も一つ一つ脱いだらたたむ、袋に綺麗にしまっておけるなど、今までやってきたことを友達と教え合いながら再確認をして、自分で出来ることは自分で行うようにします。

遊びでは、自分でやりたい遊びをして前のクラスの子と遊ぶこともあるでしょう。年中組の時にやっていた鬼ごっこなど、クラス関係なく大勢で関わる遊びをして、緊張していた子も安心して遊びを通して友だちと関われるようにしていきます。クラスの壁面をみんなで作ったり、「ジャンケン列車」など友達と名前を教え合ったり、2人組で手をつないで触れ合いがもてるゲームを通してクラスの新しい友だちにも意識がもてるようにしていきます。

また年長組の意識から、年少組の様子を見に行ったり、困っている子を見つけて声をかけ先生に伝えたり、支度など手伝ってあげる姿も見られることでしょう。そこを認め、自信につなげていけたらと思います。